

サイバーセキュリティ—講演会 報告

2017年9月17日

文責 小野常富

* 本講演会は、幹事会とパソコンクラブの共催である。

日時：2017年9月15日(金) 15時～16時30分

会場：千葉大学人文社会科学系研究棟2階 マルチメディア会議室

講師：千葉県警察本部 サイバー犯罪対策課 情報セキュリティアドバイザー 星野和彦様

参加者：85名(内、けやき倶楽部非会員=9名…朝日新聞「千葉マリオン」の広告や当倶楽部のHPを見て) けやき倶楽部会員は全員メール会員(郵送会員は無し)。

演題：「高齢者を狙うネットトラブルの実例と対策」

内容：2個のタブレット内蔵の資料により、説明と紹介。

1. 最近のインターネットの動向

- 1) インターネットが普及し、あらゆるものが接続されるようになり、重要インフラ化 → それに伴い犯罪も増加
- 2) スマートホンがここ数年で急速に普及。女子高校生に普及＝一般化。

2. サイバー攻撃

1) 標的型メール攻撃

- ・ウィルス感染はメール添付ファイルからほとんど。
- ・ウィルスは原理的にどのような優秀なソフトでも防げない。できたばかりのウィルスには対策ソフトがない。(ゼロディ攻撃) → 重要なデータは、必ずバックアップを取っておくこと。

2) ランサムウェア(身代金ウィルス)

実際にランサムウェアに感染した状態を再現して説明。

- ・今年の5月連休前後に、世界的に被害が広まった。(WannaCry) 韓国のウィルス対策会社までもが感染した。
- ・感染源はメール添付ソフト。
- ・感染すると、PC上のファイルを暗号化してしまい、使えなくする。(PC画面をロックするものもある＝筆者注)
- ・5万円程度を要求し、支払うと暗号化解約(復号化)パスワードを送ってくる。*1
- ・ファイルを元に戻すのは、専門家でも不可能。初期化するしかない。
- ・スマホの普及により、スマホに感染するランサムウェアも発見されている。

3. SNSの利用

- 1) 不適切な発言により炎上する。世間には暇な人間が多い。
- 2) SNSでつぶやいた内容、掲載した写真から個人の特特定が可能。個人情報流出も。
- 3) 反社会的行為は場所が特定され、店や会社のみならずふざけて実行した本人も刑事罰を受けたりする。(アイスクリームの商品の上に寝る、レストランの調味料入れを鼻に入れる、などの馬鹿な行為)

4. ネット詐欺の増大

手口が巧妙化。「振り込め詐欺」の犯人を捕まえると称して、警官を装う手口さえ現れている。

- 1) オークション…異常に安いものは「何かある」
- 2) 偽サイト…本物そっくりのものも。美味い話には乗らないこと。
- 3) 不当請求には「相手にしない」「徹底無視」を心がけること。「解約はこちら」のボタンをクリックしたり、電話したりしないこと。相手はプロ。言葉巧みに個人情報を聞き出される。こちらの電話番号がわかってしまう。

講演後、Q&A。

- 1) ウィルス感染してもデータが盗まれないようにできないか？ → できるかもしれないが非常に金がかかるだろう。
- 2) 楽天の偽サイトで 7 万円だまし取られた。犯人は中国へ逃げたらしいが捕まえられるのか？
→ サイトの開設は、留学生にアルバイトでやらしたりしており、サイトのオーナー＝犯人でないことが多い。中国など Interpol に加盟していない国へ逃げたら、諦めるしかない。
- 3) ランサムウェアに感染した PC は復元してもらえるか？ → 警察だけでなく、ウイルス対策ソフトの会社でも無理でしょう。

その他、活発な質疑が交わされたが、何度か強調しておられたのは

「怪しいと思うメールは、たとえ友人からであっても絶対に開かないこと」

「本当に必要なメールなら、再度問い合わせしてくるはず」

「うまい話には必ず裏がある」といった点。

筆者注：

* 1: ランサムウェアに関する 2 年前の情報では「身代金を払っても、暗号解読キーは送ってこないから、払うな」ということであった。最近では真面目に？復号化キーを送ってくるのであろうか？もしそうであれば、「ランサムウェアに感染したら、黙って金を払えば元に戻る」と誤解されかねない。

ちなみにトレンドマイクロの最新のサイトでは、「金を払っても復号化キーを送ってくるかどうかは分からない」「解除キーで暗号化を解除しても、完全には元に戻らない」から「一切金は払うな」と勧めている。また、無料で復号化ソフトを提供しているが、「完全ではない」と自ら認めている。

考察：

講演後、複数の会員に評価を聞いたところ、概ね「有効だった」「役に立った」「また同様の講演会を頼む」など、肯定的な評価であった。

会員以外へも公開としたので、初めて朝日新聞「千葉マリオン」にイベント広告を出したところ、応募 9 名中 7 名がこれを見て、とのことであった。効果があるので今後も利用すべきであろうが、頻繁には利用できないようなので、複数の掲載メディアを今後探す必要がある。

又残り 2 名はけやき倶楽部ホームページを見て、とのことであった。ということは、会員以外にも当倶楽部のホームページを見ている人はいるわけで、意を強くした。

以上